

# 災害に備える地域づくり

～日頃の見守り、支え合い活動を通じて～

於：流山市文化会館ホール 2023(令和5)年2月1日

# 1. 防災の基本 災害とは この地域で考えられる災害は・・・

- 巨大地震（津波災害）、直下型大地震災害（液状化）
- 原子力災害
- 風水害、高潮、土砂災害
- 大火災
- □災
- 新興感染症大流行（コロナ禍） etc.

<特に大変になるのは「複合災害」です！！>

# 1 - 1 流山市での、水害被害の想定

- 水害避難 5万人（人口20万人の1 / 4）
- 水害時の避難所 収容人数2万3千人
- 水害から「命」を守るために

あなたに伝えたいこと（流山市発行）

- 水害は「浸水想定区域」だけにおこるものではありません
- 他の地域でも、ある程度の水害を想定し、他の災害対策と合わせて準備が必要
- 災害発生のおそれや、実際に発生した場合には出来る支援を！！

## 2. 災害の時に「助かる」「助ける」には、 まず自分の住む「地域」の危険性を知る

- 流山市地震ハザードマップ
- 流山市洪水ハザードマップ
- 流山市浸水（内水）ハザードマップ
- 流山市土砂災害ハザードマップ
- 高潮浸水想定区域図・高潮浸水継続時間

↑ これらを参考にしながら「まち歩き＋話し合い」

### 3. 誰が誰を、どうやって助けるのか

- 自助 あらかじめ、自分（達）で準備しておく「人、物、事」
- 共助 お互いに助け合えるよう準備（知人、友人、親戚）
- 近助 近所で助け合えるように準備（地域の人々）

共助、近所は「日頃からの見守り活動」そのもの  
特別な「防災活動」ではないが、「防災風味」も必要

- 公助 市役所、消防、消防団（←近助）、警察、自衛隊・・・

# 4. 災害時に一番大変な思いをするのは 「要支援者」ですが・・・

- 名簿登載者は「多すぎる」？・・・かもしれません
- 地震災害と台風・大雨災害の違い
- 一般避難所 指定避難所 69 か所
- 風水害避難所 自主避難用（事前開設） 6カ所
  - レベル3 6か所
  - レベル4 37か所
  - 民間商業施設（駐車場など） 6
- 福祉避難所 指定 1 協定 14（主に高齢者施設）

# 5. 個別避難計画は 「大変な人」から・・・

- 被害想定が大きい場所に住んでいる、避難する力が弱い人
- 関係者（※）がどうして助けるかを話し合うことが大切
- このように進めることで、助ける側も、助かる力が強くなる

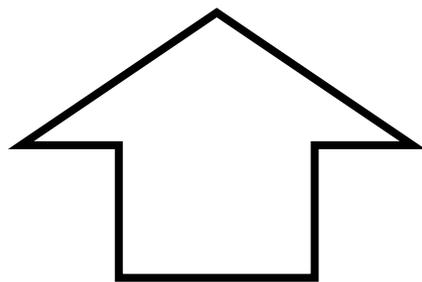
※ 本人、家族、近所、町会関係者、地域包括支援センター、ケアマネージャー、介護事業所、民生委員など・・・

みんなで考えていくことが大事で、個別避難の計画に、一律の答えはありません。

## 5-1. あれ？この構図

どこかで見たとような・・・

本人、家族、近所、町会関係者、地域  
包括支援センター、ケアマネージャー、  
介護事業所、民生委員など・・・



この構図は「〇〇〇〇〇ケアー」に似てる

## 6. 福祉法人・福祉事業者と地域の関係

- 福祉サービスを行う事業所にはBCP義務付け（来年度までに）  
事業継続（BCP）の要素は
- BCPでは地域との結びつきも求められる
- 要支援者を長期に支えるのは、こちらの力
- 短期的行動（避難、避難所、福祉避難所）は地元と協力  
利用者を救うために、地域などと協力する努力が始まった

# 7.これで「役者」は出そろった あとは「台本」と「稽古」

- 行政（要支援者名簿、避難所、福祉避難所）
- 自助、共助、近助  
（本人、家族、地域、町会・自治会）
- 福祉事業者（BCP）利用者→地域との関係
- 個別避難計画  
みんなで考え、「大変な人」から順番に

## 8. 理想的には 「地域ごとの計画」ができると・・・

- 地区防災計画（2014～）

名前は何でも良いのですが、

地元で考えた個別の防災計画を、

最終的には行政が承認（各種支援も）し、

地域防災計画に含める

- 災害時に役に立つための実質的防災訓練

自助、共助、近所、公助を担う  
流山市のみなさま

あわてず、あせらず、着実に、  
災害時に役立つ「人・物・事」を  
用意していきましょう